

## VII 外来種の監視と防除

### <主要施策の取組状況>

#### 1 外来種の監視と未然侵入防止

##### ① 県民参加による外来種の監視と情報の収集

- ・ アライグマ防除実施計画に基づき、市町村から捕獲情報・目撃情報を収集した。

##### ② アライグマ等の外来生物の監視

- ・ 各種調査で設置した自動撮影カメラの撮影記録からアライグマ情報を収集した。その結果、奥山・山地域で撮影記録はなかった。

#### 2 侵入した外来種の防除

##### ③ 特定外来生物の防除方法の検討及び防除の実施(淡水魚類)

- ・ 河川管理者（県）や相模川で外来魚調査を実施している漁協、NPOなどに対し、調査計画等についての助言を行った。

#### 3 丹沢産緑化苗木及び緑化手法の検討

##### ④ 丹沢産の緑化種子生産・苗木の育成

- ・ 丹沢産の苗木を育成するため、東丹沢（堂平周辺等）や西丹沢（中川、檜洞丸等）でブナやモミ等の種子の直接採取やトラップによる採取を行い、一部を苗木生産者へ配布した。
- ・ 水源の森林づくり事業等で使用する広葉樹 16 種（「水源林整備の手引き」第 8 苗木植栽の考え方(46 頁)参照)の安定的な供給を図るため、母樹候補木から種子を採取・精選し、発芽率、成長量調査及び生産量調査を実施した。また、丹沢産の緑化種子生産を継続した。

##### ⑤ **FS**現地表面層土壌を活用した緑化手法の研究開発

- ・ 平成 24～26 年度に現地表面層土壌等を用いた法面緑化を試験施工した箇所経過観察を行った。（林道工事：県営日向林道、治山工事：山北町山市場地内）
- ・ また、別の場所で新たに同様の試験施工を行った。（林道工事：県営宮城野林道）

### ○外来種の監視と防除の実施状況（H28）

外来種の監視と未然侵入防止	侵入した外来種の防除	丹沢産緑化苗木及び緑化手法の検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アライグマ防除実施計画に基づき市町村からの捕獲・目撃情報の収集。</li> <li>・ 各種自動撮影カメラ調査による外来種撮影状況の把握。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来魚調査の計画等について、河川管理者（県）、漁協、NPOなどへ助言。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母樹候補木からの種子採種等。</li> <li>・ 現地表面層土壌を活用した林道法面緑化箇所等の経過観察。</li> </ul>

○アライグマのワナによる捕獲状況



○ブナの種子採取状況[堂平]



○事業実施位置図（位置情報のある事業のみ掲載）

